

2018年11月期（第49期）

決算説明補足資料

株式会社ティムコ

2019年1月号 ②

2019年2月14日版

も く じ

- ・ 比 較 貸 借 対 照 表 1
- ・ 比 較 損 益 計 算 書 2
- ・ 売 上 高 の 内 訳 3
- ・ 業 績 推 移 と 次 期 予 想 5
- ・ 市 場 の 動 向 に つ い て 7
 - （ ・ アウトドア関連市場の動向
 - ・ 釣用品市場の動向

会 社 名	株 式 会 社 テ ィ ム コ
JASDAQ上場	1996年（平成8年）6月18日
証券コード	7 5 0 1
U R L	http://www.tiemco.co.jp

注）当資料は予告なく改訂する場合があります

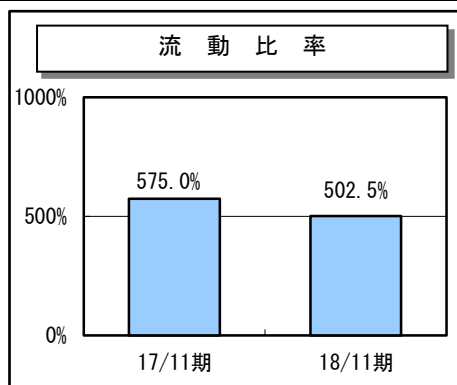
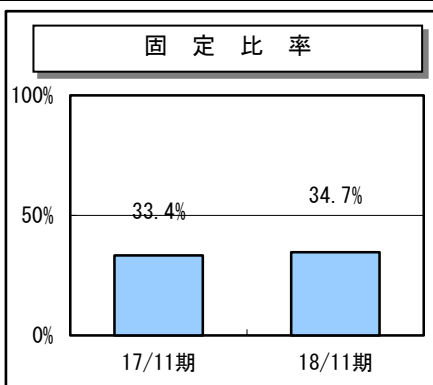
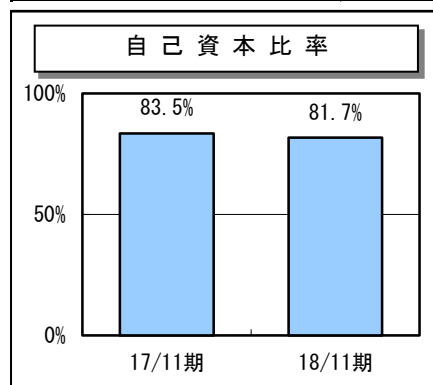
当 資 料 に 関 す る お 問 い 合 わ せ

株式会社ティムコ 社長室
東京都墨田区菊川3-1-11 〒130-8555
TEL(03)5600-0122 FAX(03)5600-0302

比較貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目	第48期 2017年11月30日 現在	第49期 2018年11月30日 現在	増減	備考
資産の部				
現金・預金	2,031,698	2,219,411	187,713	支払手形、売掛金の増加に関連しての増加
受取手形及び売掛金	565,002	556,029	-8,973	
有価証券	100,030	—	-100,030	社債の償還による減少
商品の	1,420,311	1,394,642	-25,669	販売伸長による在庫の減少
その他	56,302	60,745	4,442	
貸倒引当金	-4,167	-2,148	2,018	
流動資産合計	4,169,178	4,228,679	59,501	
建物	570,645	560,371	-10,273	減価償却実施による減少
土地	653,376	653,376	—	
その他	22,170	16,227	-5,943	主に有形リース資産返済による減少
有形固定資産合計	1,246,192	1,229,975	-16,217	
無形固定資産合計	37,666	21,540	-16,126	主に無形リース資産返済による減少
投資その他の資産合計	326,355	418,762	92,406	社債買付による増加
固定資産合計	1,610,214	1,670,278	60,063	
資産合計	5,779,393	5,898,957	119,564	
負債の部				
支払手形・買掛金	507,383	645,461	138,078	第4四半期仕入増大による増加
未払法人税等	27,659	27,610	-48	
返品調整引当金	27,576	32,533	4,957	計算対象売上高増加による
その他	162,412	135,978	-26,434	未払消費税、リース債務、資産除去債務等の減少
流動負債合計	725,031	841,583	116,552	
長期未払金	51,621	51,621	—	
退職給付引当金	132,412	144,963	12,550	計算対象者増加による
その他固定負債	47,157	41,713	-5,443	長期リース債務返済による減少
固定負債合計	231,190	238,298	7,107	
負債合計	956,221	1,079,882	123,660	
純資産の部				
資本金	1,079,998	1,079,998	—	
資本剰余金	3,861,448	3,861,448	—	
利益剰余金	339,641	341,087	1,445	配当支出及び当期純利益等による
自己株式	-478,033	-478,034	-1	
株主資本合計	4,803,055	4,804,500	1,445	
評価・換算差額等合計	20,116	14,575	-5,540	
純資産合計	4,823,171	4,819,075	-4,095	
負債純資産合計	5,779,393	5,898,957	119,564	
自己資本比率	83.5%	81.7%	純資産合計 ÷ 資産合計 × 100(%)	
固定比率	33.4%	34.7%	固定資産 ÷ 純資産合計 × 100(%)	
流動比率	575.0%	502.5%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)	

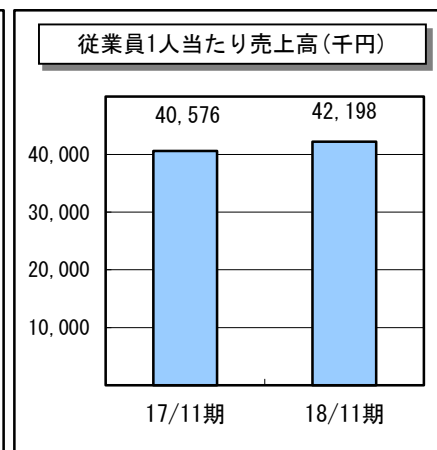
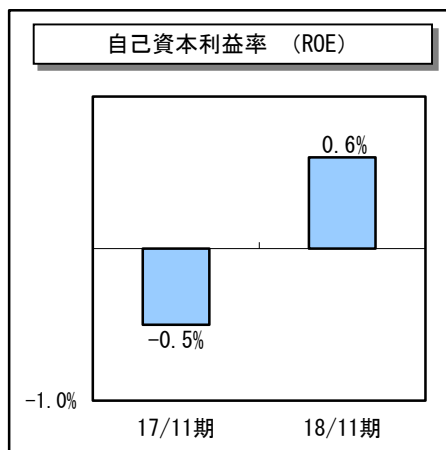
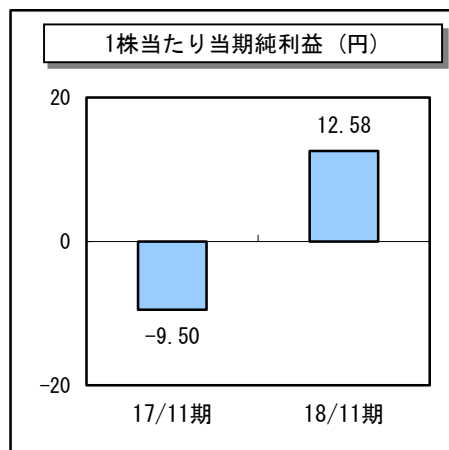


比較損益計算書



(単位：千円)

勘定科目	第48期 2017年11月30日		第49期 2018年11月30日		増 減		備 考
	金 額	百分比	金 額	百分比			
売 上 高	2,880,920	100.0%	2,996,113	100.0%	115,193	4.0%	当事業年度における日本経済は、大手企業の生産活動や個人消費の底堅さを背景に需要の緩やかな回復がみられたものの、中国経済の減速や深刻化する人手不足による人件費の上昇、米国通商政策の先行き不透明感などの懸念要素が企業の景況感を下押しする状況となりました。 当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場ともに、第1四半期においては例年よりも冬の気温が低下した影響等により景況が左右される展開となりました。また6月以降は夏の記録的猛暑や台風災害等の影響も加わって、外出を手控えるなど下押し要因が重なり、全般に厳しい市場環境となりました。このような状況の中、当社では販売体制及び収益基盤の強化に取り組んだ結果、当事業年度の売上高は29億96百万円(前年同期比4.0%増)となりました。 また、売上高の増加に連動した売上総利益が増加したことにより、営業利益は43百万円(前年同期 営業損失19百万円)、経常利益は50百万円(前年同期 経常損失16百万円)、当期純利益は31百万円(前年同期 当期純損失23百万円)となりました。
売 上 原 価	1,580,277	54.9%	1,630,493	54.4%	50,216	3.2%	
売 上 総 利 益	1,300,643	45.1%	1,365,620	45.6%	64,976	5.0%	
返品調整引当金戻入額	28,551	1.0%	27,576	0.9%	-975	-3.4%	
返品調整引当金繰入額	27,576	1.0%	32,533	1.1%	4,957	18.0%	
差引売上総利益	1,301,619	45.2%	1,360,662	45.4%	59,043	4.5%	
販売費及び一般管理費	1,321,062	45.9%	1,317,255	44.0%	-3,806	-0.3%	
営業利益又は営業損失	-19,443	-0.7%	43,406	1.4%	62,849	-	
受 取 利 息	161	0.0%	200	0.0%	38	23.8%	
受 取 配 当 金	945	0.0%	989	0.0%	44	4.7%	
為 替 差 益	717	0.0%	3,967	0.1%	3,249	452.8%	
その他営業外収益	1,490	0.1%	1,978	0.1%	488	32.7%	
営 業 外 収 益	3,314	0.1%	7,135	0.2%	3,820	115.3%	
支 払 利 息	73	0.0%	-	0.0%	-73	-100.0%	
その他営業外費用	124	0.0%	70	0.0%	-53	-43.4%	
営 業 外 費 用	197	0.0%	70	0.0%	-127	-64.3%	
経常利益又は経常損失	-16,325	-0.6%	50,472	1.7%	66,797	-	
特 別 利 益	7,700	0.3%	18	0.0%	-7,681	-	
税引前当期純利益及び純損失	-8,625	-	50,196	-	58,821	-	
法人税、住民税及び事業税	14,196	0.5%	21,088	0.7%	6,892	48.5%	
法 人 税 等 調 整 額	705	0.0%	-2,056	-	-2,761	-	
当期純利益又は純損失	-23,527	-	31,164	-	54,691	-	
純 資 産 合 計	4,823,171 千円		4,819,075 千円		-4,095 千円		
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		- 株		
発行済株式総数(除自己株式)	2,476,551 株		2,476,550 株		-1 株		
期中平均株式数	2,476,553 株		2,476,551 株		-2 株		
1株当たり当期純利益	-9.50 円		12.58 円		22.08 円		当期純利益÷期中平均株式数
1株当たり純資産	1,945.88 円		1,945.88 円		0.00 円		純資産÷発行済株式総数(除自己株式)
自己資本利益率(ROE)	-0.5 %		0.6 %		1.1 point		当期純利益÷期末の自己資本
当期末従業員数 (役員及び臨時従業者を含む)	71 人 (159) 人		71 人 (166) 人		0 人 (7) 人		期中平均人員
従業員1人当たり売上高	40,576 千円		42,198 千円		1,622 千円		売上高÷期末従業員数
減 価 償 却 費	79,874	2.8%	72,331	2.4%	-7,542	-9.4%	



売 上 高 の 内 訳



■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円) < 解 説 >

セグメント	2017/11期		2018/11期		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
(フィッシング事業)						
ルアー用品	235,400	8.2%	299,170	10.0%	63,770	27.1%
フライ用品	503,992	17.5%	473,796	15.8%	-30,195	-6.0%
その他フィッシング用品	143,383	4.9%	128,055	4.3%	-15,327	-10.7%
計	882,776	30.6%	901,023	30.1%	18,247	2.1%
(アウトドア事業)						
アウトドア衣料	1,652,575	57.4%	1,745,709	58.3%	93,133	5.6%
その他アウトドア用品	313,266	10.9%	317,028	10.6%	3,762	1.2%
計	1,965,841	68.3%	2,062,737	68.8%	96,895	4.9%
そ の 他	32,302	1.1%	32,352	1.1%	50	0.2%
18	2,880,920	100.0%	2,996,113	100.0%	115,193	4.0%

■フィッシング事業
天候不順による釣り機会減少や市場低迷の影響により、フライ用品の販売が苦戦した一方、ルアー用品は、ルアー・釣竿等の新製品投入効果やインターネットによる販売促進活動が奏功し、売上高は9億1百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

■アウトドア事業
前秋冬シーズンの低温傾向により防寒重衣料の販売が好調であったほか、春夏物は防虫衣料「スコーロン」製品の宣伝効果、9月以降は暖冬傾向であったものの秋冬物の販売が堅調に推移し、売上高は20億62百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

■ 販売経路別売上高

(単位：千円)

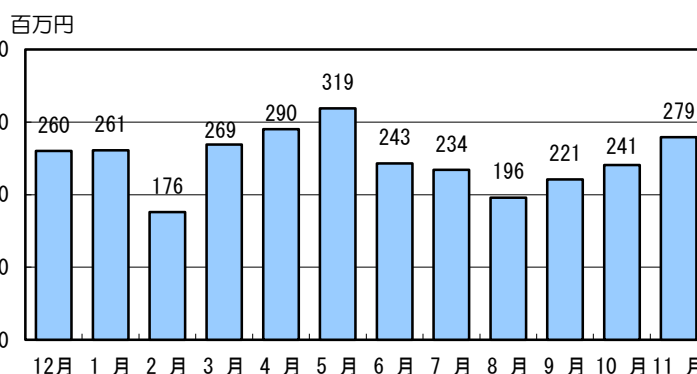
販 売 経 路		2017/11期		2018/11期		前年同期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
国 内	当社 → 卸売店 → 小売店 → 消費者	308,242	10.7%	313,565	10.5%	5,322	1.7%
	当社 → 小売店 → 消費者	2,350,682	81.6%	2,459,721	82.1%	109,038	4.6%
	その他	33,791	1.2%	35,769	1.2%	1,977	5.9%
	国 内 小 計	2,692,717	93.5%	2,809,056	93.8%	116,338	4.3%
輸 出		155,900	5.4%	154,704	5.2%	-1,195	-0.8%
その他(損害保険代理店手数料/不動産賃貸収入)		32,302	1.1%	32,352	1.1%	50	0.2%
合 計		2,880,920	100.0%	2,996,113	100.0%	115,193	4.0%

※) フォックスファイヤースタ等の販売店は、「当社→小売店→消費者」に含まれます。

■ 月 別 売 上 高

(単位:千円)

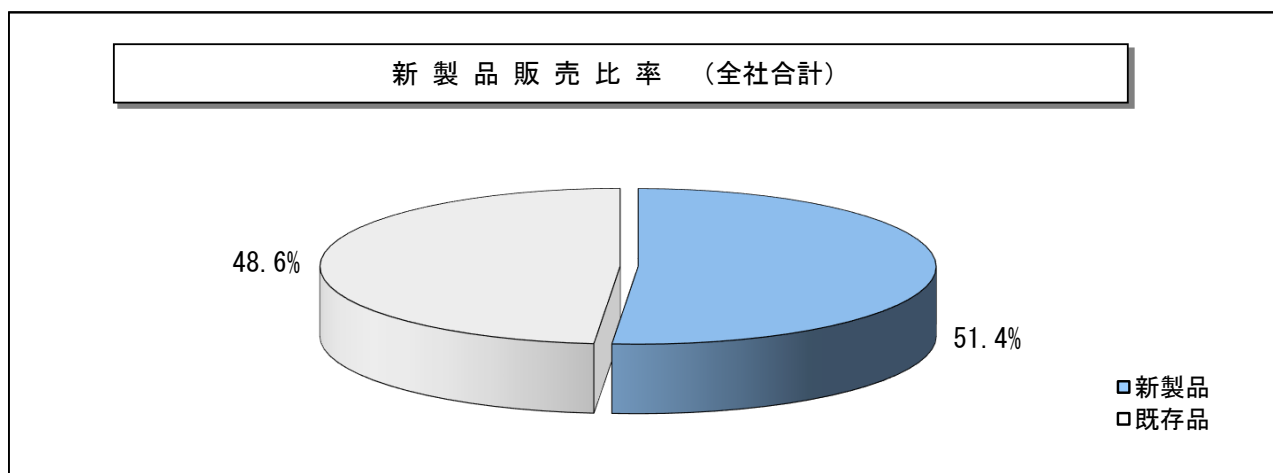
	売 上 高	構 成 比	前年同月比
12月	260,468	8.7%	11.9%
1月	261,895	8.7%	21.1%
2月	176,480	5.9%	8.0%
3月	269,410	9.0%	-3.2%
4月	290,971	9.7%	1.6%
5月	319,745	10.7%	10.6%
6月	243,846	8.1%	-1.0%
7月	234,085	7.8%	-2.4%
8月	196,280	6.6%	0.2%
9月	221,852	7.4%	-3.7%
10月	241,501	8.1%	5.0%
11月	279,577	9.3%	2.7%



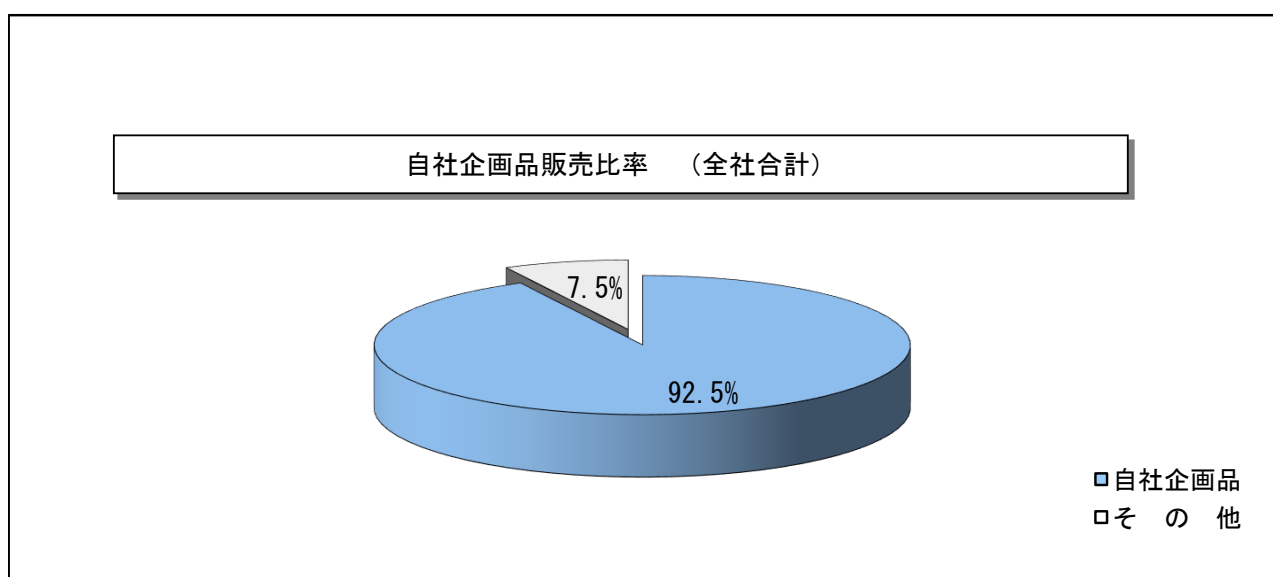
< 解 説 >

当期に関しては、特に第1四半期における気温の低下によって、防寒衣料を中心としたアウトドア衣料が売上げを伸ばしました。一方、気象条件の厳しい年でもあり、特にフィッシング用品が影響を受けましたが、新製品のプロモーション効果などによりルアー用品を中心に第2四半期後半や第4四半期5月後半の売上が堅調に推移しました。

■ 新製品販売比率（2018年11月 通期）



■ 自社企画品販売比率（2018年11月 通期）



■ 輸 出 の 状 況

（単位：千円）

■ 輸 入 の 状 況

（単位：千円）

	17/11期	18/11期		17/11期	18/11期
売 上 高	2,880,920	2,996,113	仕入金額	1,536,391	1,611,923
輸出金額	155,900	154,704	輸入金額	121,113	155,459
輸出比率	5.4%	5.2%	輸入比率	7.9%	9.6%
輸出シェア	スリランカ 24.6%	スリランカ 28.5%	輸入シェア	アメリカ 63.4%	アメリカ 59.0%
	アメリカ 14.6%	アメリカ 18.1%		韓 国 20.3%	中 国 18.7%
	タ イ 7.1%	タ イ 9.2%		中 国 8.3%	韓 国 13.9%
	スウェーデン 5.7%	オーストラリア 6.1%		スウェーデン 3.8%	スウェーデン 3.3%
	オーストラリア 5.1%	スウェーデン 4.7%		カ ナ ダ 1.7%	カ ナ ダ 1.6%
	韓 国 5.0%	韓 国 4.7%		パキスタン 1.1%	パキスタン 1.0%
	そ の 他 37.9%	そ の 他 28.7%		そ の 他 1.4%	そ の 他 2.5%

<解 説>

輸出は、主にフライ用品を北米や欧州を中心に輸出しています。18/11期については、欧州の市場低迷により輸出額が伸び悩みました。輸入につきましては、売筋商品を中心に仕入を強化したため、前期に比べて増加しました。

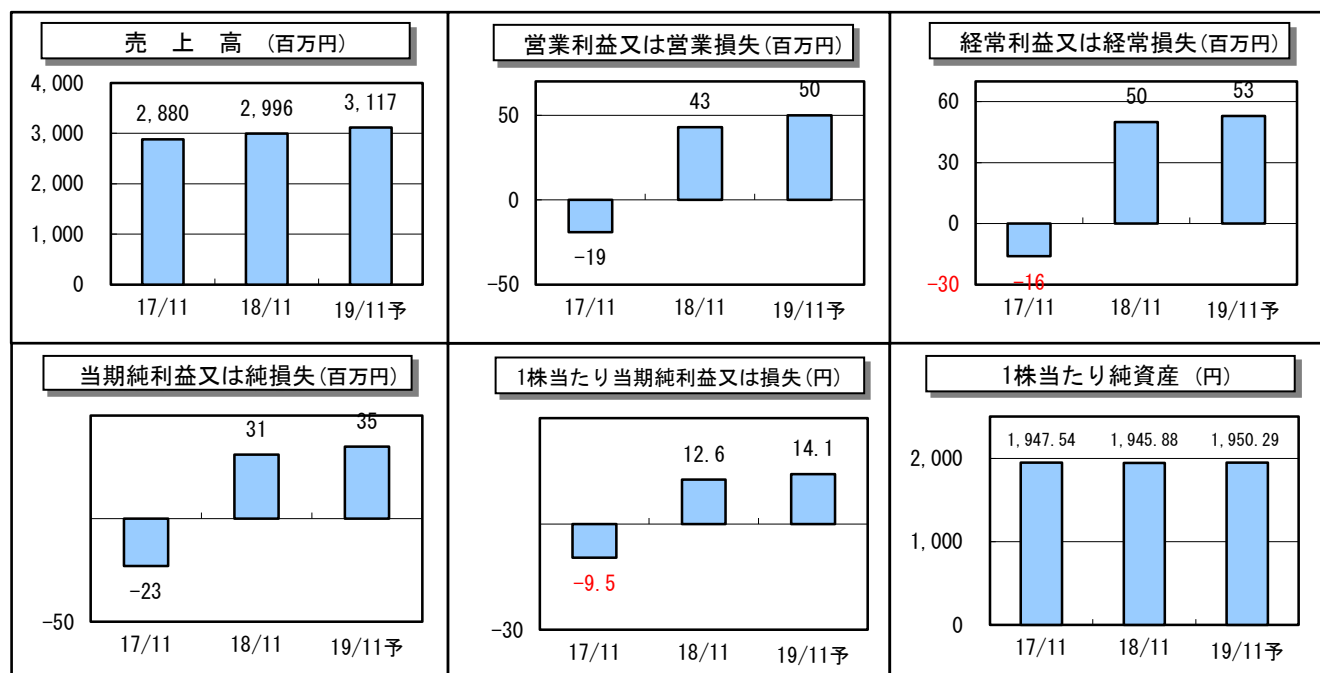
※輸入金額については、外国法人との直接取引金額を表示しています。

業績推移と次期予想 ①



(単位：千円)

	第48期 (17/11期)		第49期 (18/11期)			第50期 (19/11期) 予想		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比	前期比
売上高	2,880,920	100.0%	2,996,113	100.0%	4.0%	3,117,000	100.0%	4.0%
売上原価	1,580,277	54.9%	1,630,493	54.4%	3.2%	1,705,200	54.7%	4.6%
売上総利益	1,300,643	45.1%	1,365,620	45.6%	5.0%	1,411,800	45.3%	3.4%
返品調整引当金戻入額	28,551	1.0%	27,576	0.9%	-3.4%	32,533	1.0%	18.0%
返品調整引当金繰入額	27,576	1.0%	32,533	1.1%	18.0%	33,533	1.1%	3.1%
差引売上総利益	1,301,619	45.2%	1,360,662	45.4%	4.5%	1,410,800	45.3%	3.7%
販売費及び一般管理費	1,321,062	45.9%	1,317,255	44.0%	-0.3%	1,360,800	43.7%	3.3%
営業利益又は営業損失	-19,443	-0.7%	43,406	1.4%	-323.2%	50,000	1.6%	15.2%
営業外収益	3,314	0.1%	7,135	0.2%	115.3%	8,905	0.3%	24.8%
営業外費用	197	0.0%	70	0.0%	-64.5%	5,500	0.2%	7757.1%
経常利益又は経常損失	-16,325	-0.6%	50,472	1.7%	-409.2%	53,405	1.7%	5.8%
特別利益	7,700	0.3%	18	0.0%	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益又は純損失	-8,625	-	50,196	-	-	53,405	1.7%	-
当期純利益又は純損失	-23,527	-	31,164	-	-	35,000	1.1%	-
純資産	4,823,171 千円		4,819,075 千円		-	4,830,000 千円		予想
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		-	3,339,995 株		予想
自己株式数	863,444 株		863,445 株		-	863,445 株		予想
期末株式数	2,476,551 株		2,476,550 株		-	2,476,550 株		予想
期中平均株式数	2,476,553 株		2,476,551 株		-	2,476,551 株		予想
1株当たり当期純利益及び純損失	-9.51 円		12.58 円		-	14.13 円		予想
1株当たり純資産	1,947.54 円		1,945.88 円		-	1,950.29 円		予想
1株当たり配当金	12.00 円		12.00 円		-	12.00 円		予想
当期末従業員数	71 人		71 人		-	71 人		予想
従業員1人当たり売上高	40,576 千円		42,198 千円		-	43,901 千円		予想
減価償却費	79,874 千円		72,331 千円		-	74,551 千円		予想
設備投資額	14 百万円		14 百万円		-	17 百万円		予想



<解説>

国内における景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。また、アウトドア関連産業におきましても、引き続き厳しい市場環境になることを想定しております。こうした外部環境の状況から、当社では規模の拡大よりも内容の充実に重点を置き、着実な収益の向上に努めてまいります。

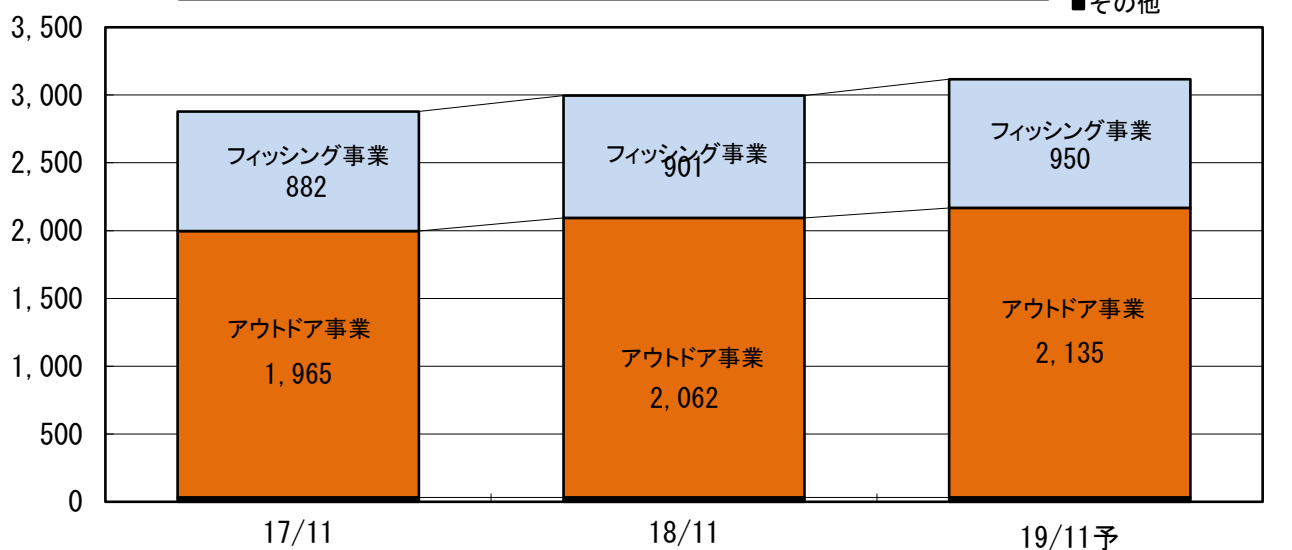
2019年11月期の売上高は31億17百万円を予想しております。また、利益面については、営業利益50百万円、経常利益53百万円を予想しており、当期純利益に関しては35百万円を予想しております。

■ 事業セグメント別売上高

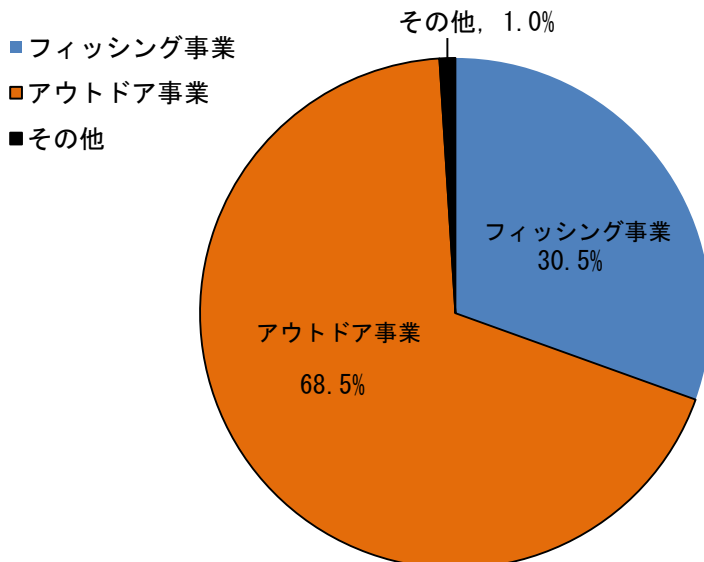
(単位：千円)

セグメント	第46期 (17/11期)			第49期 (18/11期)			第50期 (19/11期) 予想		
	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比
フィッシング事業	882,776	31.6%	-0.1%	901,023	30.1%	2.1%	950,000	30.5%	5.4%
アウトドア事業	1,965,841	67.3%	-0.5%	2,062,737	68.8%	4.9%	2,135,000	68.5%	3.5%
その他	32,302	1.1%	5.6%	32,352	1.1%	0.2%	32,000	1.0%	-1.1%
全社合計	2,880,920	100.0%	-0.3%	2,996,113	100.0%	4.0%	3,117,000	100.0%	4.0%

事業別の売上高推移 (単位：百万円)



事業別の売上高構成 (19/11予)



<解説>

フィッシング事業では、今後も釣り人口の裾野拡大に寄与しながら、ブランド力の強化とネット活用の取り組みにより収益性の向上に努めてまいります。

また、アウトドア事業に関しては、アウトドア衣料ブランド「フォックスファイヤー」の商品力強化とともに、引き続き直営店舗「フォックスファイヤーストア」の収益性向上に努めてまいります。

これらにより、通期の売上高は31億7百万円を予想しております。

アウトドア関連市場の動向

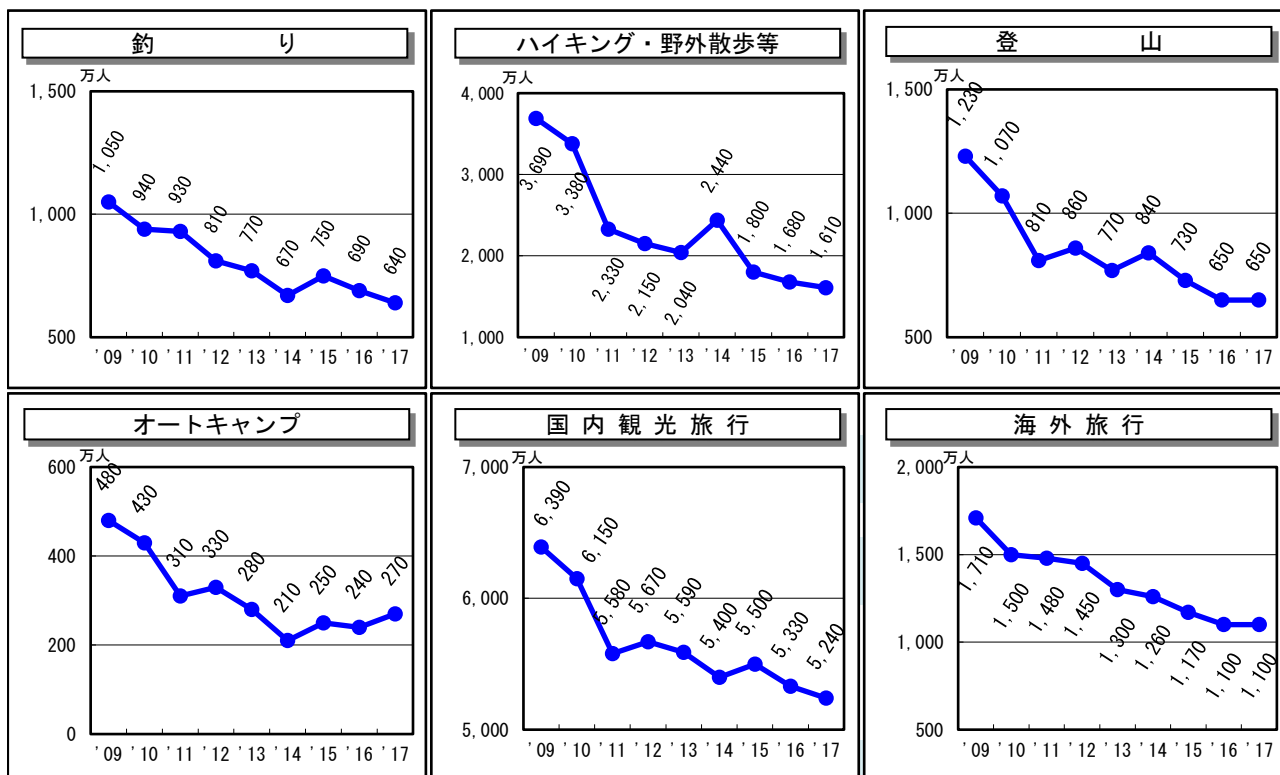


● 参加人口の推移

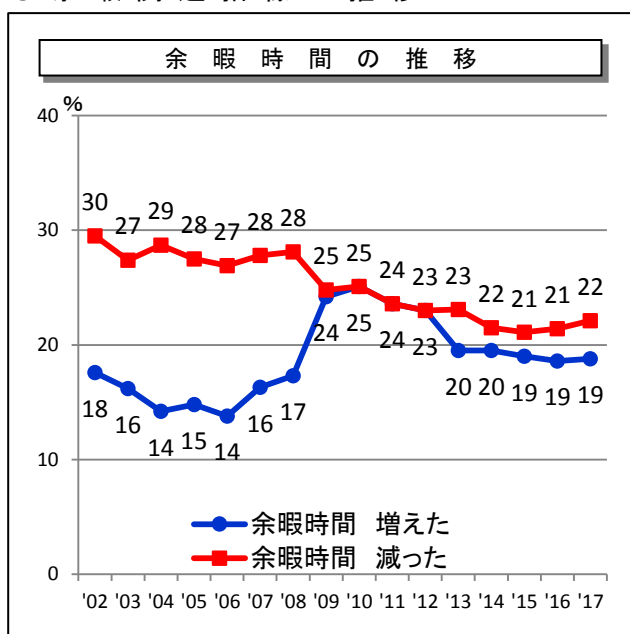
(単位：万人)

ジャンル	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
釣り (含ルアー・フライ以外)	1,050	940	930	810	770	670	750	690	640
ハイキング・野外散歩等	3,690	3,380	2,330	2,150	2,040	2,440	1,800	1,680	1,610
登山	1,230	1,070	810	860	770	840	730	650	650
オートキャンプ	480	430	310	330	280	210	250	240	270
国内観光旅行	6,390	6,150	5,580	5,670	5,590	5,400	5,500	5,330	5,240
海外旅行	1,710	1,500	1,480	1,450	1,300	1,260	1,170	1,100	1,100

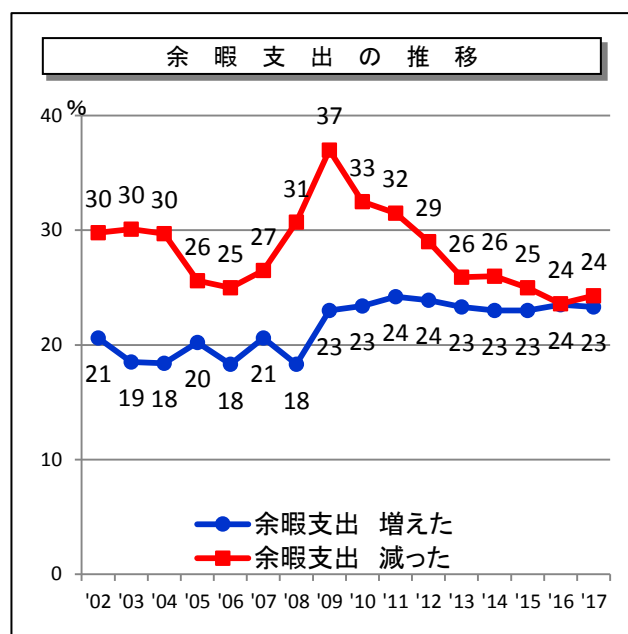
出典「2018 レジャー白書」公益財団法人 日本生産性本部 2018年8月



● 余暇関連指標の推移



出典「2018 レジャー白書」公益財団法人 日本生産性本部



出典「2018 レジャー白書」公益財団法人 日本生産性本部

釣用品市場の動向



● 釣用品市場規模の推移

(単位：百万円)

年 度	国内出荷市場				小 売 市 場				出荷/小売
	金 額 (A)	前 年 比		指 標 ※	金 額 (B)	前 年 比		指 標 ※	A/B
2008年	124,440	-1.3%	-1,650	100.0	188,390	-0.9%	-1,660	100.0	66.1%
2009年	124,270	-0.1%	-170	99.9	189,620	0.7%	1,230	100.7	65.5%
2010年	119,120	-4.1%	-5,150	95.7	180,840	-4.6%	-8,780	96.0	65.9%
2011年	111,650	-6.3%	-7,470	89.7	168,370	-6.9%	-12,470	89.4	66.3%
2012年	115,340	3.3%	3,690	92.7	173,620	3.1%	5,250	92.2	66.4%
2013年	121,130	5.0%	5,790	97.3	181,880	4.8%	8,260	96.5	66.6%
2014年	123,850	2.2%	2,720	99.5	185,610	2.1%	3,730	98.5	66.7%
2015年	127,530	3.0%	3,680	102.5	191,010	2.9%	5,400	101.4	66.8%
2016年	131,890	3.4%	4,360	106.0	197,200	3.2%	6,190	104.7	66.9%
2017年	135,200	2.5%	3,310	108.6	201,940	2.4%	4,740	107.2	67.0%
2018(見込)	136,600	1.0%	1,400	109.8	203,260	0.7%	1,320	107.9	67.2%
2019(予測)	140,710	3.0%	4,110	113.1	209,100	2.9%	5,840	111.0	67.3%

出典：「第22回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2019年1月

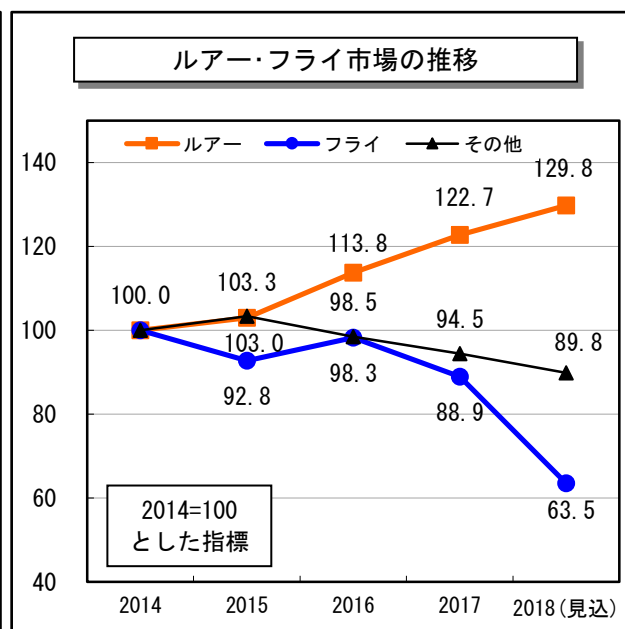
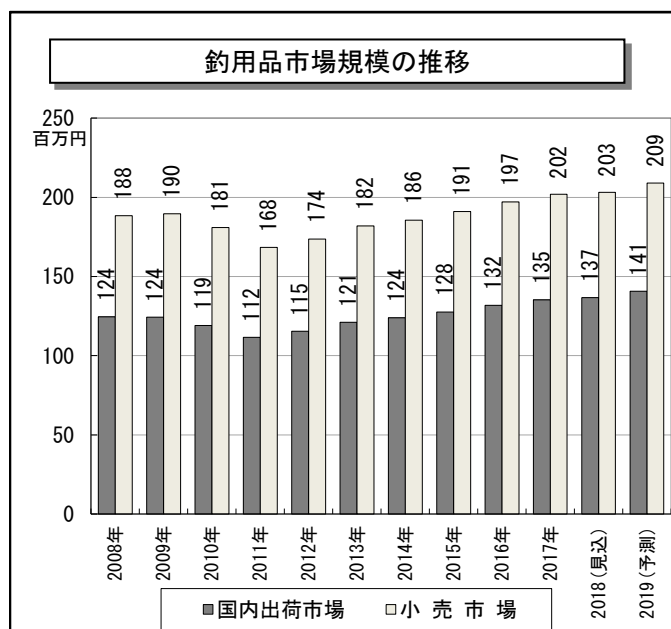
※指標は2008年を100とした場合の増減を表示しております。

● 釣種別国内出荷市場の推移

(単位：百万円)

釣 種	2016		2017			2018(見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	73,762	55.9%	79,564	58.8%	7.9%	84,141	61.6%	5.8%
フライフィッシング	2,103	1.6%	1,903	1.4%	-9.5%	1,359	1.0%	-28.6%
ルアー・フライ小計	75,865	57.5%	81,467	60.3%	7.4%	85,500	62.6%	5.0%
投 げ 釣 り	4,346	3.3%	4,305	3.2%	-0.9%	3,933	2.9%	-8.6%
磯・波止め釣り	21,332	16.2%	20,991	15.5%	-1.6%	19,620	14.4%	-6.5%
船 釣 り	17,023	12.9%	15,938	11.8%	-6.4%	15,721	11.5%	-1.4%
渓 流 釣 り	2,303	1.7%	2,120	1.6%	-7.9%	1,992	1.5%	-6.0%
ア ユ 釣 り	4,988	3.8%	5,069	3.7%	1.6%	5,006	3.7%	-1.2%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	5,553	4.2%	4,760	3.5%	-14.3%	4,329	3.2%	-9.1%
そ の 他	480	0.4%	550	0.4%	14.6%	499	0.4%	-9.3%
合 計	131,890	100.0%	135,200	100.0%	2.5%	136,600	100.0%	1.0%

出典：「第22回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2019年1月



■ アウトドア用品市場

(単位：百万円)

分 類	2015	2016		2017見込		2018予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
※アウトドアウェア	83,870	85,660	2.1%	92,300	7.8%	97,660	5.8%
※アウトドアシューズ	31,400	31,930	1.7%	32,790	2.7%	33,350	1.7%
※ザック類	24,150	24,530	1.6%	25,360	3.4%	25,560	0.8%
テント・タープ類	11,590	12,290	6.0%	13,410	9.1%	14,180	5.7%
テーブル・チェア	8,020	9,420	17.5%	10,120	7.4%	10,660	5.3%
クーラー・ジャグ類	4,490	4,850	8.0%	4,760	-1.9%	4,950	4.0%
その他の	29,180	30,840	5.7%	31,350	1.7%	31,100	-0.8%
合 計	192,700	199,520	3.5%	210,090	5.3%	217,460	3.5%

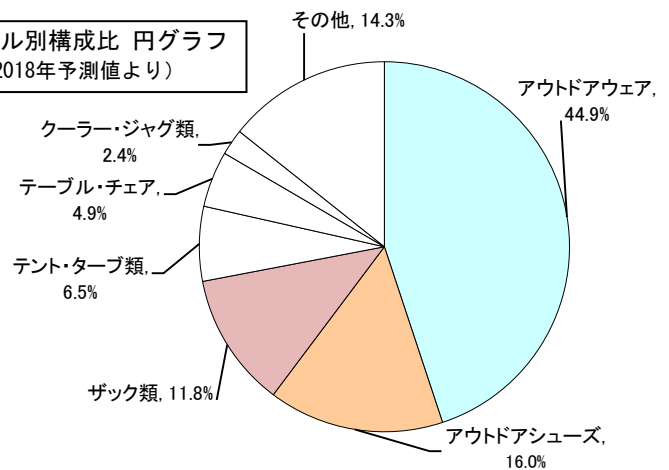
※ 当社の関連するアウトドア用品市場

■ ジャンル別 構成比 (2018年予測値より)

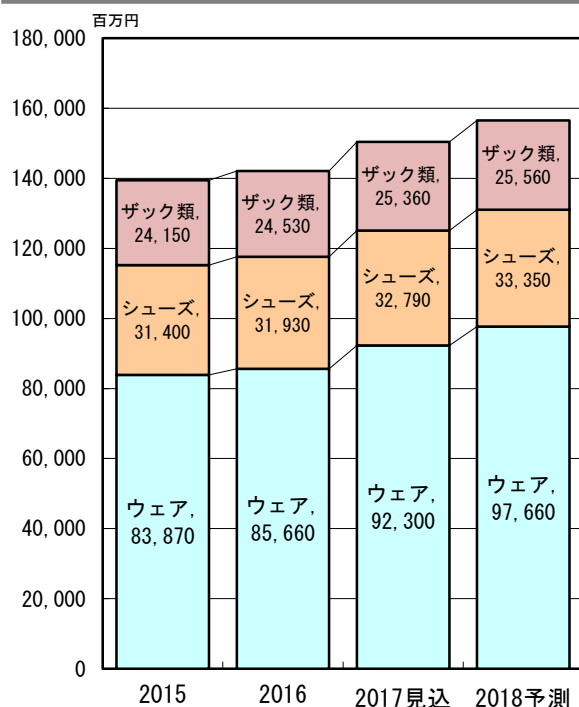
分 類	シェア
※アウトドアウェア	44.9%
※アウトドアシューズ	15.3%
※ザック類	11.8%
テント・タープ類	6.5%
テーブル・チェア	4.9%
クーラー・ジャグ類	2.3%
その他の	14.3%
合 計	100.0%

※ 当社の関連するアウトドア用品市場

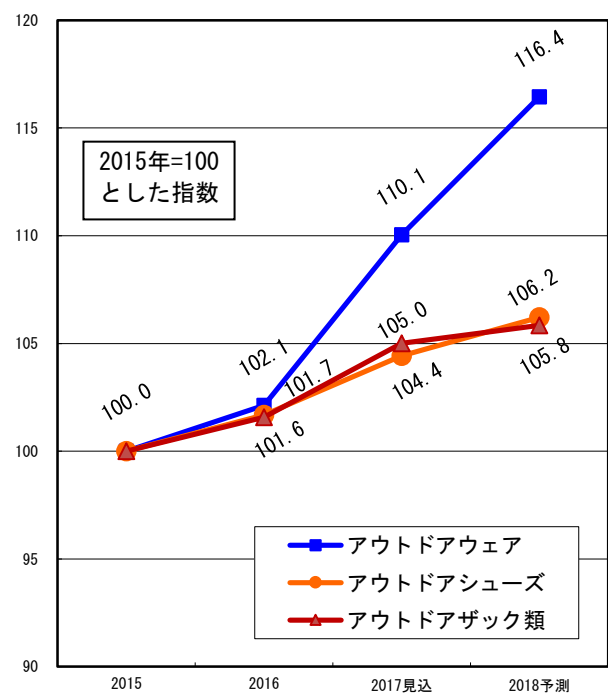
ジャンル別構成比 円グラフ
(2018年予測値より)



当社の関連するアウトドア用品市場規模①



当社の関連するアウトドア用品市場②



出典「2018年版 スポーツ産業白書」株式会社 矢野経済研究所 2018年3月27日発行

注) 見込値・予測値については実態と異なる場合があります。